

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 魚津 常義
 幹事 二村 聡
 I.T委員長 油田 弘 佑

No. 4

超 我 の 奉 仕

SERVICE Above Self

2005~2006年度 RI会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハママー

きょうの例会
 第1097回 平成17年 8月 2日(火)

講演 “一葉の世界に生まれ育って”
 金城学院大学文学部 教授 雨甲斐 朱美様
 (紹介 牧野さん)

先週の記録
 第1096回 平成17年 7月 26日(火) 雨
 ガバナー補佐訪問

◆“奉仕の理想”

◆出席報告

会員	60(58)名	出席	43名
出席率	74.14 %		
前々回	7月12日 (修正出席率)		91.38%

◆ビジター紹介

ガバナー補佐	(北RC)	田嶋 好博君
ガバナー補佐幹事	(北RC)	近藤 和利君

◆8月会員誕生日

伊藤三津子さん (8/12) 伊藤 健文君 (8/17)
 黒野 貞夫君 (8/20)

二村幹事報告

1. 本日例会終了後、クラブ協議会を開催致しますので担当の方は芙蓉の間にお集まり下さい。
2. ロータリー適用相場、現在1ドル108円が8月より112円に変更となりますのでお知らせ致します。

魚津会長挨拶

皆様こんにちは。
 台風の接近で天候がどうなるかと案じておりました
 が心配のないようで安心致しました。
 田嶋ガバナー補佐、近藤ガバナー補佐幹事をお迎え
 し先程は懇談会にてご指導頂きましてありがとうございます
 でした。
 この後、田嶋ガバナー補佐には講話をして頂き例会
 後は引き続きアセンブリーとなりますので宜しくお願
 い致します。

田嶋ガバナー補佐講話



ご紹介頂きました今年度東名古屋分区ガバナー補佐
 を担当致します田嶋です。

RIはロータリーの公式標語である「SERVICE
 Above Self」、「超我の奉仕」を今年度のテーマといた
 しました。

RIは毎年毎年新しいテーマを決めることを止め
 て、ロータリーの基本的な理念を表す、例えば「超我
 の奉仕」と言うようなテーマを継続して使用すること
 を議論しているようです。RIのテーマは当該年度の
 奉仕活動を方向づけるものですから、テーマが変わら
 なければ特定の奉仕活動を継続的に行うことも考えら
 れます。ロータリークラブは、毎年人事も事業も一新
 していますが、この点の変化をとらえてロータリーが
 変わると指摘する方もいます。

奉仕の重要性については、私達のおかれている立
 場からも理解することができます。地球環境は深刻で
 あります。子や孫、自分自身を含めての安全と健康は大
 変心配です。地球資源が有限であることは広く知られ
 ています。私達はこれら問題の解決のため協力をした
 いと考えるのが普通であり、それが奉仕の原点と言え
 ます。私達は奉仕とかかわりなく暮らすことができな
 いのであります。企業においても社会的責任として、
 コンプライアンスにとどまらず、人権、環境、雇用、
 地域社会との調和も強調されています。

私達のような先進国の大都市のロータリークラブで
 は、自ら奉仕を行うことは中々難しく、資金を提供す
 ることにより奉仕活動を行うことのほうが適切な活動
 ができることもあると思います。

「毎年あなたも100ドルを」と財団に寄附することを

呼び掛けることも、私達の資産提供により財団を介して奉仕活動を行うと考えれば、財団への寄附の意義を理解できるのではないのでしょうか。財団について、とかく寄附する面を考えますが、地区補助金、財団奨学生派遣、財団学友会、GSEなど財団の資金により活動している事業があります。是非財団を活用して奉仕活動を行うこともお考え頂きたいと思います。

今年度RI会長賞は必要条件として会員1名以上の純増をあげています。

この問題はクラブとして頭の痛い問題であります。ロータリークラブの会員の増減は社会、経済情勢や地域社会のロータリークラブに対するイメージの影響を受けることは明らかですが、ロータリークラブ側もいろいろな面で変わって来ています。

私は1972年(昭和47年)名古屋北ロータリークラブに入会いたしました。入会の時の情報委員長のお話で例会の出席は100%するようにとのことと、ホームクラブばかりではなく、他のクラブの例会にも出席すると勉強になるとの勧めがあり、機会があれば東京ロータリークラブの例会に出席するようと言われました。入会して1~2ヶ月後上京する機会があり、帝国ホテルの東京クラブの例会に出席しました。

ビジターはテーブルが指定されていて、そのテーブルに参りますとテーブルマスターとして東京クラブの年配の会員が居られました。その方が二・二六事件の当日東京クラブの例会日で会員が軍隊が厳戒態勢を敷くなか、雪の降り積もるなか苦勞して例会に出席したことを話されました。

ご長老の方がロータリーの歴史を伝えるためにビジターのテーブルのテーブルマスターをつとめておられることに敬服すると共に、二・二六事件を体験した方から直接日本のロータリーの歴史を伺って感激しました。歴史的な大事件が起きているその日にロータリークラブの例会に命を懸けて出席するという事は、当時の会員が如何にロータリーを大切にしていたか、真剣に取り組んでいたかを示しているわけですが、単なる奉仕団体であればそこまでとは考えられません。ロータリーに国際間の理解と親善の窓口としての期待をしていたのではないかと思います。そういった先進会員の皆様のためまぬ努力が現在のロータリーを築き上げて来たのであります。考えてみれば、例会場の各テーブルにはテーブルマスターがいたし、それぞれのテーブルには出席者の氏名を記載して、それを廻すということもありました。今ではそんなことはしていませんし、ビジターとして他クラブを訪問すること自体少なくなってしまうました。現在のロータリークラブはホスピタリティーに欠けているきらいがあるのではないのでしょうか。また、メーキャップ期間の延長に伴いビジターとして他のクラブを訪問することが少なくなりました。ビジターとして他クラブを訪問することは例会の運営方法の違いを知ったり、素晴らしい卓話を聞くことができますが、サインだけのメーキャップは少々残念な気がします。

現在新入会員を勧誘する時、ロータリーは金がかか

る、時間がとられるなど色々否定的な回答に接することがあると思います。そんな時各クラブが会員の参加を得てそれぞれ独自の誇るべき奉仕活動を実行され、あるいは会員がクラブに誇りを持って活動されているとか、他のクラブにないクラブの運営の方法など優れた点に思い至すべきであります。

昨年度末に創立された名古屋葵ロータリークラブの会員の平均年齢は40才で、例会時間を毎月3回は朝7時30分から、1回は夕方開催し、朝の例会はコーヒーだけ、連絡はインターネットで行い事務局は置かない、入会金が5万円、年会費が20万円というように開催時刻や会費に工夫して若い方が入会し易く配慮しています。また、会員にはローターアクト出身者が5名ほどいて、今後の彼等の活動に期待が持てますし、ローターアクトのあり方にも大きな影響を与えたいと思います。第一線を退いても奉仕に関心を持ち、経済的な余裕のある、元気な方がおられますが、こういう立場の事業経営者などをお誘いすることもできましょう。

退会の防止については、和合ロータリークラブのように入会時に新入会員を歓迎する歌「WELCOME TO ROTARY」を全員で歌えば、新入会員を歓迎する気持ちが伝わり、新入会員にとっても早くなじみ易いと思います。

私は1998年(平成10年)北クラブの会長に就任し、その後恒例のロータリー情報委員長を終えますと、クラブの役はやらなくてもいいと言う、気楽な立場になります。先輩が亡くなったり、体調を悪くされて退会されますと淋しい気持ちになりました。そんな時俳句の会が出来ました。毎月1回先生が出ず兼題にしたがって、俳句を投句するのですが、会員が優れていると思う俳句を互選したり、先生の優秀句の選評があり、下手は下手なりに俳句を楽しむことによって、今迄とは別な、新たな気持ちでロータリーに取り組むことが出来るようになりました。俳句の会にはクラブを退会された方からも投句して貰っています。

このようにロータリークラブは趣味の会ですから、それを通じて色々な見方、付き合い方ができる組織であり、会員との交流によって啓発されたり、癒されたり、社会に奉仕する機会が与えられます。こんなことも退会防止の役に立つのではないのでしょうか。

会長・幹事懇談会

11:30~12:20 オーキットルーム



継続事業として独自の国際支援活動(キャンヘルプタイランド)についてご理解を頂きました。



各委員会が活動計画を報告。

その後、田嶋ガバナー補佐から北RCでは退会者が現在も同好会に参加している事や、千種RCが25周年を盛大に行われるよう祈念しますとの言葉と近藤ガバナー補佐幹事からは、北RCでは各委員会会議を年に何回か会員の提供する場で開催し委員のみならず、全会員に出席を呼びかけメーキャップ扱いとすることで親睦の輪を広げ出席率の負担を軽くし退会防止につなげているとのご説明を頂きました。

ニコボックス

(7/26分)

ガバナー補佐 田嶋 好博君
本日は宜しくお願いします

ガバナー補佐幹事 近藤 和利君
補佐訪問にお邪魔して

萩原 喜代子

前回ビジターとしてお招き致しましたヒルトン総支配人のハーマン様より御礼のお手紙を頂きました。大変楽しいひと時をありがとうございました。大変素晴らしいひと時をありがとうございました。皆様によろしくと仰っていました。

鈴木 理之

久米君、ご苦労さまでした

魚津 常義

田嶋ガバナー補佐・近藤ガバナー補佐幹事をお迎えして

油田 弘 佑・足立 一郎

池田 隆・池森 由幸

榎尾 富二・加藤 重雄

川端 圭・小杉 啓彰

小山 雅弘・黒須 アイ子

柵木 充明・松居 敬二

松永 正史・宮本 光久

宮尾 紘司・三好 親

成田 良治・西川 豊長

奥本 文也・大口 弘和

尾武 武弘・佐久間 良治

佐野 寛・笹野 義春

澤田 淳治・竹内 眞三

舎人 経昭・和田 正敏

渡邊 源市・山本 眞輔

吉田 節美・吉田 玄

ガバナー補佐をお迎えして

在田 忠之・竹内 克豊

山本 英次

夫人誕生日祝い

二村 聡

ガバナー補佐をお迎えして

夫人誕生日祝い

小坂 井盛朗

結婚記念日祝い

合計

84,000円

(7/19分)

名古屋東RC 水野 茂生君

41年間皆出席させて頂きました

お世話になりました

尾関 武弘

水野創立会長と突然のお別れに万感胸に迫ります。

ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

萩原 喜代子

今日はヒルトン名古屋取締役総支配人のハーマンJ.アソック様と秘書の玉木様をビジターとしてお招き致しました。

皆様どうぞ宜しくお願い致します。

魚津 常義

水野創立会長のご冥福をお祈り申し上げます。

山本 眞輔

暑中お見舞い申し上げます。

足立 一郎・在田 忠之

池田 隆・池森 由幸

伊豫田 博明・加藤 重雄

川端 圭・小林 文明

小坂 井盛朗・黒須 アイ子

松居 敬二・松永 正史

宮本 光久・宮尾 紘司

三好 親・水谷 祥督

森 幸一・成田 良治

大谷 和雄・佐久間 良治

佐野 寛・鈴木 正男

鈴木 理之・竹内 眞三

和田 正敏・渡邊 源市

山本 英次・吉田 節美

吉田 玄

水野民也さんのご冥福を心より

お祈り申し上げます

笹野 義春

水野民也さんのご冥福を心より

お祈り申し上げます

会員誕生日祝い

合計

94,000円

(7/12分)

元、東名古屋分区ガバナー補佐

長谷川 正孝君

魚津会長様始め、会員の皆様にお会い出来ることを楽しみに参りました。

川端 圭

グラスグラスの時の写真遅くなりました。

すてきな所だったので皆さん、とてもステキな顔をしていらっしゃいます

魚津 常義

クラブ計画書、忘れました。

浅井 誠寿

昔を思い出しまして…

ゴルフ靴 軽しよ芝の 青世界

黒野 貞夫

水野さん、お世話になりました。

先日はご足労をおかけしまして誠に有難う御座いました。

山本 英次

欠席ばかりで申しわけありませんでした。

油田 弘 佑・足立 一郎

在田 忠之・二村 聡

萩原 喜代子・池田 隆

池森 由幸・伊藤 健文

伊藤 三津子・伊豫田 博明

榎尾 富二・加藤 重雄

小山 雅弘・小坂 井盛朗

久野 峯一・黒須 アイ子

牧野 登志子・松居 敬二

松永 正史・宮本 光久

三好 親・森 幸一

成田 良治・西川 豊長

奥本 文也・大谷 和雄

佐野 寛・鈴木 正男

鈴木 理之・竹内 眞三

谷口 優・舎人 経昭

渡邊 源市・吉田 節美

吉田 玄

梅雨明けも間近のようです

佐久間 良治

梅雨明けも間近のようです

会員誕生日祝い

合計

69,000円

ガバナー就任にあたり



第2760地区
2005～2006年度ガバナー
高橋 治郎
(名古屋西RC)

2月末にアナハイムでの国際協議会を終了すると直ぐ、3月3日にロータリー館の完成引渡し式、3月24日には天皇・皇后・皇太子様をお迎えして21世紀最初の愛・地球博の開会式、4月のガバナー事務所分室移転等々、今年の前半は本当に慌ただしく過ぎました。

万博開幕以来、入場者の数も増加し、ロータリー館の利用も豊島館長、藤本事務局長さん達のご努力で随分増えました。一般の方々にもPRが行き渡り、世界のロータリアンからも喜んでもらっています。ただ建設運営資金が、9月末に当館を引き払い原状復旧するまでを考えると、若干不足するものと思われれます。今期も会員の皆様から引続きご寄附をお願いすることになりますので、何卒ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

RI新会長カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏は、本年度のテーマを『超我の奉仕』と発表しました。今年2月にロータリークラブは結成100周年となり、本年度はロータリーにとって第2世紀の最初の年になるので、原点に戻って見直そうという意味なのでしょうか。また、今までは、各会長の強調事項が変わっていましたが、今年は大切な事は継続性を持たせるべきであるという方針

で、識字率の向上、水保全保健衛生問題などは引続き強調されることになっています。現在力を入れているポリオプラスプロジェクトもWHOや各国の政府とも協力して継続されますが、ポリオ問題が終らないうちに新しい世界規模のプロジェクトは開始しないと明言したのは、新会長が北欧出身で堅実な性格によるものではないかと推測されます。

会員増強も強調されました。世界的にもなかなか困難なようですが、各クラブが毎年1名ずつ純増できれば、世界120万人の会員数は10年後に150万人になるという計算になります。

ロータリーはクラブ活動が原点ですから、各クラブが例会や諸活動を工夫し、会員が楽しく感じ、社会的に評価されるようになれば、良い資質の新しい友人が増えてくるでしょう。本年度は、国の行事としての万博後半と公式訪問開始の時期が重なり、会員の皆様にはご迷惑をお掛けするのではないかと心配していますが、全力を挙げて親睦と理解の輪を広げるお手伝いをさせていただきますので、一年間の変わらぬご支援ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



2004～2005年度
ガバナー 大島宏彦氏

直前ガバナー大島宏彦様ご夫妻への感謝の言葉 高橋 治郎

2004～2005年度の当地区ガバナーをお務めいただいた大島宏彦様、喜美代様ご夫妻には、大変お忙しい一年間であったかと思いますが、お元気で自然体のままに素晴らしい結果を残されました。本当にお疲れ様でした。心から敬意と感謝を述べさせていただきます。

当年度のRIテーマ『ロータリーを祝おう』の言葉通り、2月にロータリー100周年、3月には愛・地球博開幕（ロータリー館の募金・建設・運営開始）、更には、ご出身の名古屋クラブの創立80周年を迎えるという多忙な年度であったにもかかわらず、大島さんは公務、社業、ロータリーという三つの活動を平常心で淡々とこなされ、

それぞれの分野での任務を十二分に遂行されました。誠に頭の下がる思いがいたします。

また、持ち前の実行力によりガバナー月信のホームページ化、地区事務所の改編と移転を進められましたが、いずれも時代の要請に合った簡略化・合理化であり、後任者として基本的に継続させていただくつもりでございます。

大島ご夫妻には、今後ともいろいろお世話になることかと思いますが、その豊富な経験と卓越したご意見により、適時適切にご指導賜れば誠に有難く存じます。

お二人には健康に充分留意され、今後とも益々活躍いただきますようお願い申し上げます。一年間のご苦勞に対するお礼の言葉とさせていただきます。